

## ジオ太とジオ美の旅

### ⑬ 加茂青砂海岸と真山流紋岩

もうすぐ春、今日は珍しく快晴です。そこで、ジオ太くとジオ美ちゃんはまだ男鹿半島のジオサイトの中で行ったことのない西海岸の加茂青砂海岸に出かけることにしました。「さあ、行こう」。2人は久しぶりの現地観察なので張り切っています。

ジオパーク学習センターから車で約40分ほどで加茂青砂海岸に到着しました。大きな石がゴロゴロしています。(写真:右上)ジオ太くんは、地質図を広げました。「このあたりはナマハゲの伝説で知られる真山周辺から溶岩が噴出し広がったのかな。山稜部から加茂川流域、加茂青砂周辺海岸にかけて真山流紋岩が分布しているね」と周辺をぐるりと見渡しました。「火山活動が激しくなった頃ね。約3400万年前ぐらいかな」とジオ美ちゃんも同じように周囲を見渡しました。

「あっ、大きな洞窟がある!!」とジオ太くんは大声を上げました。海岸の南側に洞窟が見えます。カンカネ洞です。(写真:右下)「これは真山流紋岩の溶岩が海の浸食作用によりえぐられた海食洞ね。空洞が3方あるわ。とっても神秘的!!」と、洞窟に入ったジオ美ちゃんは興奮しています。「天井の空洞は土地の隆起と侵食が繰り返されてできたんだね。それから溶岩として流れた時につくられた縞模様も見えるよ。つまり流理構造が発達した流紋岩」とジオ太くんもジオ美ちゃんに負けじと洞窟で観察を始めました。

海岸の北の方には緑色を帯び角礫が集まった岩石が見つかります。「これは溶岩が水中に流れ込むなどして急冷破碎されたものね」とジオ美ちゃんは一人うなづきました。

長い時間をかけた海の侵食により火山噴出物が洞窟に変身した姿を見た2人は、大地の時間のスケールとその力の大きさに感動し帰路に着きました。

